

全学カリキュラム CPW

前期開講科目:

▼ CPW 基礎 I (1C・2C)

後期開講科目:

▼ CPW 基礎 II (1C・2C)

▼ CPW 基礎 III (1C・2C)

▼ CPW A (1C)

▼ CPW B (1C)

▼ CPW C (1C)

夏期・冬期集中授業:

夏期 9月・冬期 2月 開講予定

▼ CPW A (未定)

▼ CPW B (未定)

▼ CPW C (未定)

授業は「グループワーク・フィールドワーク中心」です。全学の取り組みのため、学部やキャンパスを問わず履修することができます。()内は開講キャンパスです。集中授業の履修登録期間の目安は、夏期は7月頃・冬期は1月頃です。詳細は POTI シラバスをご確認ください。

本学は、グローバル化・国際化への対応を教育理念とする大学として、以前から「地域志向」を重視しています。実際の教育研究において地域と連携した取り組みを心がけてきました。

真の国際人たるもの、グローバルな視点と、自分の生きる国家・地域に関するローカルな視点の双方を適切に持つことが重要です。また、一般に言われるグローカル(Glocal)なモノの見方(Global+Localを合わせた観点)から、均衡のとれた視点・考え方をもつことが必要です。

「地(知)の拠点」として本学が背負う地域社会からの期待にも真摯に応える責任があり、今後も積極的に取り組んでいきます。

大学 COC 運営委員会

TIU COCOCOEDO Vol.3



全学カリキュラム Global + Local = GLOCAL

Community Project Workshop

舞台は小江戸、主役はあなたと“仲間たち”——JTБ 講師陣による CPW 3つのプロジェクト



Global + Local = GLOCAL

東京国際大学 × 株式会社 JTБ 関東



舞台は小江戸、主役はあなたと“仲間たち”

TIU COCOCOEDO

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」
「小江戸まちおこし」グローカル人財育成のための
地域連携型教育研究拠点づくり

COCOEDO Vol.3

2015年 3月 25日 発行

発行元:東京国際大学 COC 運営委員会
問い合わせ先:第1キャンパス管理棟 COC 事務局
メールアドレス:coc@tiu.ac.jp



観光まちおこし

CPW

A

CPW 基礎

I

- 観光資源の発掘・創出
- ホスピタリティ・ツーリズム
- 地元産業の活性化
- 川越学



小江戸グローバル化

CPW

B

CPW 基礎

III

- CM, ポスター, リーフレット
- 魅力を国内外へ発信
- ディスカバーかわごえ
- 国際交流の促進



グローカル人財育成

CPW

C

CPW 基礎

II

- コミュニティ・デザイン
- 市民交流の場の支援
- ファシリテーターの育成
- 地域活性化ワークショップ



フィールドワークで地域の課題を発見し、原因を探り
活性化させる企画をグループで話し合います

2014年12月25日 第一キャンパスにて
企画・プレゼン力を競う発表大会が開かれました

プレゼンテーション大会

総合得点

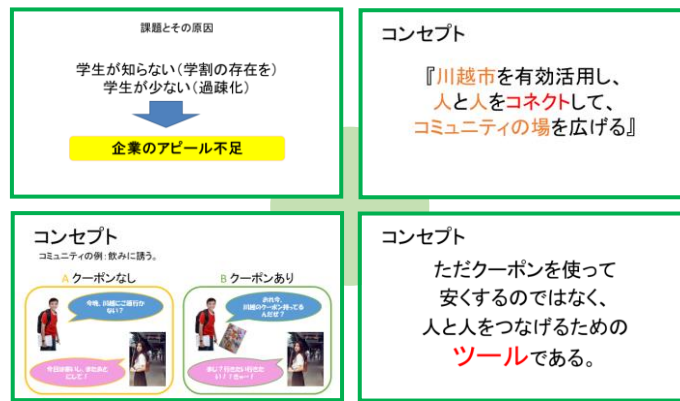
1位

チーム BONJIRI



タイトル: 学生が知って得する川越知っ得一ポン

川越市内の飲食店舗が実施する学生割引の認知の低さについて調査し、市内の若者を集客すべく情報収集を行い、クーポンのホームページを開設する企画です。



総合得点

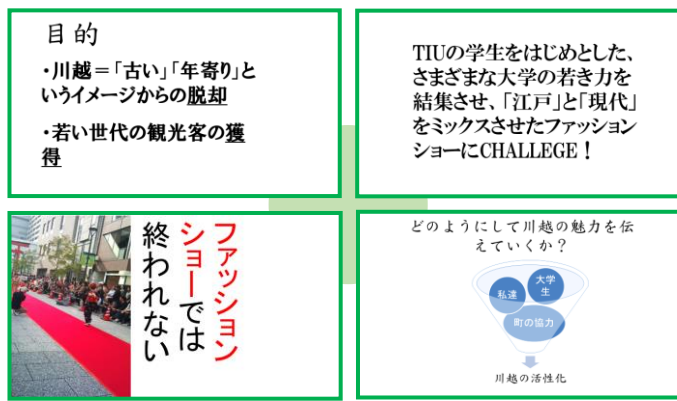
2位

チーム ライフガード



タイトル: 小江戸川越に若者の息吹を

川越春祭りの中の一つのイベントとして、若者感覚のファッションショーを開催し、同時に衣装等の協力店の集客を含めた地域活性化を継続的に図る企画です。



Discover KAWAGOE

ポケットサイズで世界へ発信！フィールドワークを通して
「わたしが見つけた川越」を冊子にまとめています

CM制作の過程を学びながら
川越の魅力を世界へ発信しています

川越 CM チャンネル



制作: 2014年後期 CPW B 受講学生

本物×伝統×交流＝川越

楽しい時間を過ごすためにオリジナルのガイドブックを作りました。
ぜひ、小江戸川越で昔ながらの日本文化をご堪能ください。

CONTENTS

- 1. 道 …… モデルコース
- 2. 感 …… 体験
- 3. 食 …… 飲食店
- 4. 甘 …… スイーツ
- 5. 贈 …… お土産



「銀河鉄道物語松本零士画業50周年記念作品」のプロデューサーを務めた地元クリエイター こんひろし先生の指導の下、夏期・冬期の集中授業で制作しています。

- 2014 夏期集中授業
「心やすらぐ小江戸」15秒CM #1~5 (全5話)
- 2014 冬期集中授業
「GO! KAWAGOE 2015」8秒CM (全16作品)



企画実現! ~学生プロジェクト第1号~

国際交流 イベント 川越ふれあい広場

2014年11月23日

なぐわし公園 PiKOA

主催: 川越ボランティア
後援: 川越市教育委員会

Q1. イベントの企画背景を教えてください

プロジェクトリーダーの剣持です、こんにちは。

「川越ふれあい広場」は、東京オリンピック開催に伴う外国人観光客の増加の流れから「川越市民の皆さんに国際交流への理解を深めてもらいたい」と考え、企画しました。今回は第一弾として、近所の小学生をターゲットとした「子どもたちが留学生と日本の遊びを体験するイベント」です!

立ち上げのきっかけは、2014年2月の集中授業 CPW C です。当初は「シャッター街活性化」のテーマで「外国人を講師に招いた料理教室」を考えていました。しかし、食べ物を扱う難しさに直面し、同年8月から「日本の文化・遊び体験」へとシフトしました。

Q2. シャッター街で料理教室から、どのように方針転換しましたか?

「私たちにできることを探そう」と思いました。やりたいこと(will)、求められていること(need)も大切ですが、“私たちにできること(can)”でなければ実現することはできません。夏休みに毎週、川越ボランティアのメンバーと話し合っ、イベント実現にこぎ着けました。

Q3. 当日の様子はいかがでしたか?

想定外のことが起きて驚きました。2時間のスケジュールを15分単位で計画していたのですが、子どもたちは体育館を自由に駆け回り、手が回らなくなりました。とても悩んだのですが、流れは止めず、スタッフが臨機応変に案内する形を取りました。特に「だるまさんが転んだ」の際、スタッフが英語バージョン「Green light, red light」を行う等、計画になかった遊びが生まれた点はよかったです。

Q4. 一番苦労した点は何ですか?

「人と会うこと」です。宣伝やお願いのため、50人以上の人にお会いしました。小学校へ足を運び企画を紹介する、留学生にスタッフをお願いする—振り返ると、本当にたくさんの人に支えられ、企画を実現することができたのだと思います。また、プロジェクトリーダーを経験して、友人から「以前より人の意見をよく聴くようになった」と言われ、自身の変化に気が付きました。

Q5. 今後の活動について教えてください

参加してくれた小学生たちも楽しみにしてくれているようです。今後も、川越のまちおこし活動を続けていきたいです。また、イベントの経験を就職に活かしていきたいです。

商学部2年 剣持 夕子 KENMOCHI Yuko



<日本の遊び・文化 メニュー>

- | | |
|-------------|-----------|
| 遊びコーナー① | 遊びコーナー② |
| ・ 福笑い | ・ はないちもんめ |
| ・ 伝言ゲーム | ・ 手ぬぐい落とし |
| ・ だるまさんが転んだ | ・ なわとび |
| ・ じゃんけん列車 | ・ お手玉、けん玉 |
| ・ 着付け体験 | ・ 書道 |
| ・ スタンブラー | ・ 漢字当てクイズ |
| ・ 受付 | ・ 肩もみ体験 |

▼ 活動の様子はここから ▼
TIU COC ホームページ
活動や取り組みを紹介しています



QRコードよりアクセス
<http://www.tiu.ac.jp/org/coc/>

川越ふれあい広場の活動写真
イベント情報 > 2014.11.23 >
当日の様子はこちら >>> より

COCOEDO バックナンバー有

